

アコード EMS ニュース 94 号を送ります。EMS1 より「サル痘患者のケアと医療提供者の安全について救急隊が知っておくべきこと」を取り上げました。日本では今のところ発生件数は 2 件ですが、7 月 25 日の時点で、米国での症例は 3,846 件だったのが、8 月 2 日では 6,326 件と、8 日間で約 1.6 倍と大きく増えています。全世界で見ても、18,000 件だったのが 25,391 件と、約 1.4 倍の増加となっています。

News94 ページ



What EMS should know about monkeypox patient care and provider safety

2022/7/28 掲載

サル痘患者のケアと医療提供者の安全について救急隊が知っておくべきこと

米国では現在、サル痘の患者数が世界一となっているため、医療提供者は、症状や患者への適切な対応について知っておく必要がある

著者：レイチェル エンゲル・EMS1 上級副編集長



<https://www.ems1.com/>

7 月 23 日、世界保健機関 (WHO) は、最近発生したサル痘について、国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態を宣言した。その 2 日後に疾病管理予防センター (CDC) が発表したデータによると、米国では、3846 例の患者が確認され、スペインの 3100 例を上回り、ほかのどの国よりも多くなっている。全世界で 18,000 例以上の症例が報告されており、その大半は米国など、通常サル痘が見られない国で発生している。患者数の増加が予想される中、サル痘の疑いがあるとの通報があった場合、医療提供者はどのような点に注意すればよいのだろうか。この記事では、最も一般的な症状、サル痘の疑いの発疹の見分け方、病院前の環境での患者への対処法について学ぶ。

サル痘とは？

CDC によると、サル痘はサル痘ウイルスによって引き起こされる病気で、天然痘に似ているが、より軽症で致死率は低いとされている。1958 年に研究用のサルのコロニーで発生したのが、最初の発見とされ、1970 年にコンゴ民主共和国で最初のヒト症例が記録された。今回の感染流行以前は、アフリカ以外の地域では、この疾患が発生している場所に旅行した人の感染がほとんどであったため、今回の流行は公衆衛生の専門家にとって懸念すべきものである。



サル痘の全症状が出る人もいれば、発疹が出るだけの人もいます。(写真/CDC・AP 通信より)

最もよくみられるサル痘の症状は何か？

サル痘の症状は、通常、感染後 1～2 週間で現れるが、個人差があり、現在どの病期にあるかによっても異なる。症状は以下の通り。

- 発熱
- 頭痛
- 筋肉痛・腰痛
- リンパ節の腫れ
- 悪寒
- 極度疲労

● 顔面、口腔内、または手、足、胸部、性器などにできた吹き出ものや水疱のような発疹

すべての症状を経験する患者もいれば、発疹だけを経験する患者もいる。

サル痘の発疹はどのように見えるか？

サル痘の発疹は、人によって、または疾患サイクルの段階によって、見え方が異なる。



サル痘はどのように蔓延するか？

この病気は、発疹や体液に直接接触するほか、長時間の対面接触の際の呼吸器の飛沫によって感染することがある。この病気は身体的または性的接触でも感染する可能性があり、妊婦がウイルスに感染すると胎盤を通して胎児に感染する危険性がある。また、発疹や体液に直接触れた衣服などに触れた場合にも、間接的に感染する可能性がある。

この病気は、症状の現れている人だけが他の人に感染させる可能性があり、典型的な症例では回復までに通常 2～4 週間かかる。専門家は、発疹が完全に治癒し、すべての水疱を新しい皮膚の層が覆うまで、感染力があると警告する。

サル痘はどのように治療されるか？

サル痘に特化した治療法はないが、天然痘の治療に用いられる多くの抗ウイルス薬が、サル痘の治療にも用いられることがある。また、米国では JYNNEOS と ACAM2000 の 2 種類のワクチンが入手可能であり、このワクチンは、ウイルスに曝露された後にこの疾患に感染するのを防ぐ可能性がある。

サル痘が疑われる症例に対して、救急隊員はどのような PPE(個人防護用品) を着用する必要があるか？

最近の論文では、「サル痘の最新の集団発生に対する救急隊の対応」で国立新興病原体研修・啓発センター (NETEC) は、救急隊員の以下の着用を推奨している。

- N-95 マスク
- ガウン
- 手袋
- フェイスシールドまたはゴーグルによる眼の保護具

サル痘が疑われる場合、救急隊員はどのように対処すべきか？

NETEC は、救急車で患者を搬送する必要が生じた場合、サル痘の蔓延を防ぐために多くの防護策を推奨している：

- ドライバーコンパートメントと傷病者コンパートメントを分離する
- 患者コンパートメントに換気ファンがある場合は、強にする
- 乗り物内の空気を循環させるのではなく、新鮮な空気を取り入れるよう設定する
- 救急車を運転する医療提供者は、ドライバー室を閉鎖できない場合は、N-95 マスクを着用する
- 傷病者と接する医療提供者数を制限する
- 衣服の着脱には PPE チェックリストを使用する
- 搬送後、病院内グレードの消毒剤で全ての表面を洗浄、消毒する
- サル痘に汚染された廃棄物を、カテゴリ A の病原体廃棄物として処分する

対応後、医療提供者はサル痘の搬送が確認されてから 21 日間、病気の徴候および症状を監視する必要がある。

アコード
救急ケア用品



ご意見や問い合わせはこちらまで。

担当：高橋 徹

Email : takahashi@accord-intl.com

アコードインターナショナル株式会社
151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 1-9-4-1005
TEL:03-3299-6751 FAX:03-3299-6752
e-mail: Accord@accord-intl.com <http://www.Accord-INTL.com>